

# 学校関係者評価報告書

愛媛県立長浜高等学校

評価実施日

令和5年 2月16日 (木)

評価・提言等

提言等に対する改善方策等

## 1 今年度の最終評価について

### (1) 学習指導

考查前家庭学習時間は、目標である1日の平均学習時間2時間30分を越える結果となっている。年4回実施の調査において、個人差はあるものの学習時間に増加傾向が見られた。また、ICT教育においては、生徒一人1台端末の活用について、更なる工夫の余地があると考ええる。

- ・学習時間の長短のみではなく、個々に応じて、学習の質を高める指導、苦手意識の克服から学習意欲の向上を図る指導等に取り組んでいく。
- ・学習の本質を見失わないように心掛け、生徒一人1台端末機器の積極的・効果的活用を図る。

### (2) 進路指導

充実した進路ガイダンス、進学メンターシステム等の活用が、意識の向上や目標の実現につながっていると感じる。生徒の能力を見出し、生かし、手厚い指導の結果であると考ええる。

- ・生徒の進路希望状況を反映させ、効果的な取組を行い、さらなる意識啓発に努める。増加する四年制大学進学希望者に対しては個々に対応したメンターシステムを活用し、早期の目標設定や個別の支援を行う。

### (3) 生徒指導

部活動においては、四国大会への出場や1年生の活躍が見られ、文化部等においては全国大会レベルの結果も得られており、喜ばしい。生活面においては、遅刻の増加や交通マナー・挨拶等で不十分であると感じることがある。学校行事においては、制限のある中でも充実したものができていると感じている。

- ・運動部への入部率の低下が見られるため、魅力ある部活動運営、雰囲気作りを行い、部員確保に努める。文化部においても更なる活動の充実を図る。
- ・規則正しい生活とするため、また、交通安全意識を高めるための注意喚起を継続して行う。
- ・学校行事に関しては、内容や効率性を考え、改善を加えていく。

### (4) 健全育成

学校が楽しいと感じている生徒の割合が大きくなっており、学校生活に満足している生徒が増加していると感じる。その状態を保護者の方も認識されているようである。ボランティア活動への参加延べ人数が増加しており、活動に前向きな様子が見えてくる。内容も様々であり、いろいろな経験ができると考える。

- ・面談やアンケートを活用し、生徒の状況の把握をより一層進める。
- ・日頃サポートをしてくれている地元の方のために、また、地域の活性化に向けて、数多くの生徒がボランティア活動に参加するよう意識啓発を行う。

### (5) 特色ある学校づくり

コロナ禍でありながら生徒たちは楽しく充実した生活が送られていると感じる。水族館活動を中心に、地域を巻き込んだ取組が大変すばらしい。地域活性化に向けた探究活動「地域探究プログラム」の発表では、毎回レベルが上がってきており、1年間の成長を感じる。

- ・地域探究プログラムや授業、部活動等において地域の課題解決に主体的に取り組むための意識啓発を行い、地域に根差した活動・研究を今後も継続していく。
- ・水族館活動においては、部員数の増加による課題も考えられる。対応策や新たな活動を模索していく。

## 2 評価・公表について

学校通信やホームページなどを通してよく情報発信されており、生徒の活動の様子が分かるのでありがたいと思っている。

- ・学校の様子や教育活動の状況、生徒の活躍ぶりがよく伝わるような情報発信を今後も継続し、保護者や地域の理解が一層深まるようにする。

## 3 学校運営への提言

生徒一人一人を大切にしている学校であり、きめ細やかな指導をされている。水族館活動だけではなく、進路実績や様々な取組による全国レベルの成績等、望ましい状況だと思っている。さらなる進化を期待したい。

- ・学校評価アンケートの結果やいただいた提言をもとに、地域の協力をいただきながら今後さらに魅力ある学校づくりを進めていく。